

Functional Analysis of Chinese Fillers [nage] and [zhege] in Conversation

Yang Zhou

1. Research Background

In 2017, the author classified and quantified the number of fillers used by Chinese native speakers in conversation. As a result, it was found that the directive fillers [pointer words] represented over 50% of all filler usage, and this type of filler was used most frequently. Directive filler words are divided into two types, the [na] type and [zhe] type. There is a great variety of directive fillers, such as [nazhong], [na], [zhe], and [zheyang]. Among them, [nage] and [zhege] are representative fillers, and they are the most frequently used in each category.

However, while previous research has been conducted on Japanese and English fillers, a research method for Chinese fillers has not been developed. In our study, we do not use fictional conversational data from television, movies, or novels; we only use natural conversation data. In this research, we use conversational data, analyze examples of real conversations thoroughly, and describe the actual usage of the fillers [nage] and [zhege].

2. Research Purpose

The purpose of this research is to clarify the actual usage, function, and gender differences of the Chinese fillers [nage] and [zhege] in conversation. By analyzing specific examples, we aim to differentiate the usage of [nage] and [zhege], which are usually used unconsciously. Furthermore, we seek to understand speakers' mental processes and predict the subsequent conversation by analyzing the actual usage of [nage] and [zhege]. Also, as the boundary between the fillers [nage] and [zhege]

and the directive words [nage] and [zhege] is vague, we aim to clarify how the directive word changes to become a filler, and whether the appearance of [nage] or [zhege] depends on speakers' psychological distance as well as the directive word.

3. Research Method

After identifying the attributes (such as age, gender, occupation, etc.) of study participants, six couples (12 individuals) who were meeting for the first time agreed to cooperate our research. We paired groups of two couples (four individuals) and observed data from twelve conversations held between the pairs. We collected data from conversations between paired couples during their first meeting using an IC recorder. We identified instances of [nage] and [zhege] from the conversation data and compared and analyzed their usage.

対話場面における中国語フィラー「那个」 と「这个」の使用実態と機能ⁱ⁾

楊 洲

1、研究目的

楊（2017）の研究では対話場面における中国人母語話者が使用するフィラーを分類し、その使用数を集計した。その結果、指示詞型のフィラーがフィラー全体の使用回数の50%以上を示し、この型のフィラーが最も多く用いられたことが分かった。指示詞型フィラーは「那」型と「这」型の2種類に分けられ、「那种」、「那」、「那什么」、「这」、「这样」などといった非常にバラエティー豊富な指示詞フィラーが存在する。その中でも「那个」と「这个」ⁱⁱ⁾は代表的な存在であり、それぞれの分類で最も多く使われていた。

本論文では、対話場面における中国語フィラー「那个」と「这个」の使用実態、機能、男女差を解明することを目的とする。具体的な発話例を考察することにより、普段あまり意識せずに用いられる中国語フィラー「这个」、「那个」の使い分けを解明し、さらには「那个」、「这个」の使用実態を調査することで、話し手の心的働きや後続する発話の流れが予測できるかと考える。また、フィラーとしての「那个」「这个」と指示詞としての

i) 本研究は日本中国語大会第68回での口頭発表に加筆修正したものである。

ii) 本研究では、「那个 nage」と「那个 nege」は同一の語と見なしている。同様に「这个 zhege」と「这个 zheige」も同じ語と見なしている。

「那个」「这个」の境界が曖昧で、指示詞としての使用法とフィラー「那个」と「这个」への変容がどのように遂げるので、「那个」と「这个」の現れ方は指示詞と同じように心理的な距離に左右されるかどうかについて明らかにする。

2. 先行研究と本研究の位置付け

日本語フィラーの定義に関する先行研究としては、山下（1990）、山根（2002）などが挙げられる。中国語フィラー劉（2009）殷（2012）に関する研究は主に「談話標識」という概念を用いて、フィラーの出現位置とターンの展開、維持、譲渡の関係について述べている。本研究は、中国人母語話者が用いるフィラーを研究対象とし、個々のフィラーの種類と使用実態を究明することを目的としている。そのため、中国語フィラーの定義を述べることで、どこまでをフィラーにするかを確定する必要がある。ここでは、上記の先行研究を踏まえ、フィラーの定義は以下のように定める。

フィラーは心理的な要因あるいは統語的複雑さにより、発話生成している過程で産出される実質的な意味を失いあるいはその意味が薄くなる語句であり、発話と発話の間に置かれ、様々な機能を持つ発音現象である。

3. 研究方法

具体的な研究方法としては、調査協力者の属性（年齢・性別などの要素）を特定した上で、初対面の夫婦 6 グループ 12 人に協力してもらった。無作為抽出の夫婦 2 組を 1 ペアとした上で、3 ペア 12 組の会話データを観察した。まず夫婦間の自然会話を IC レコーダーで録音し、さらに同じペア内の初対面の異性同士の自然会話データを収集した。いずれも会話時

表1

グループ	協力者	国籍	年齢	職業	結婚何年目	出身地
夫婦 1	男 A	中国	20 代	学生	2	江蘇省
	女 A	中国	20 代	学生	2	河南省
夫婦 2	男 B	中国	30 代	会社員	4	吉林省
	女 B	中国	20 代	会社員	4	遼寧省
夫婦 3	男 C	中国	20 代	無職	5	吉林省
	女 C	中国	20 代	会社員	5	遼寧省
夫婦 4	男 D	中国	20 代	会社員	2	廣東省
	女 D	中国	20 代	会社員	2	雲南省
夫婦 5	男 E	中国	20 代	会社員	3	河北省
	女 E	中国	20 代	自営業	3	天津市
夫婦 6	男 F	中国	30 代	公務員	2	遼寧省
	女 F	中国	30 代	会社員	2	遼寧省

間は 15 分程度に設定した。こうした調査方法では、一人の調査協力者はそれぞれ初対面の異性、自分の配偶者と話すチャンスがあるので、同じ人が異なる会話環境で表す特徴が把握でき、さらに、自然会話における人間関係の親密度がいかにフィラーの表出・使用に影響を与えるかについて明らかにすることができます。

調査協力者のプロフィールは表 1 のように示す。

3.1 会話データの文字化の方法

収集した 12 組の会話データは、宇佐美（2005, 2017）「改訂版：基本的な文字化の原則」を参考に、中国語簡体字の表記により、すべて文字化を行った。また、調査協力者のプライバシー情報（人名・地名・機関名など）に関しては、すべて【符号】で表記する。本研究の分析は様々な記号

表2

記号	意味
。	発話文の終わりにつける。
()	発話の参加者による同時発話
／沈黙n秒／	沈黙の秒数を示す
～	語尾の言い伸ばし音声。
〈笑い〉	笑いながら話した内容
?	疑問文につける。質問形式あるいは語尾のイントネーションが上昇する
…	文中・文末に關係なく、発話者が話している途中に途切れる場合、この記号を使用する
#	聞き取り不能
{ }	トランскriプトを公開する際に、固有名詞など個人情報を保護するために公開できない単語を表すときに用いる。
“ ”	発話中に、第三者の発話、思考などの内容を引用された場合、“ ”でくくる。

を使い、できる限り調査協力者の音声に忠実に書き起こすが、個人の独特的なイントネーションや空気啜りなどの微妙な変化を再現するのは不可能に近いと言える。ここでは、研究対象フィラーの出現する前後部分は自己検査を繰り返して行った。文字化の記号は表2のように示すことができる。

4、調査結果

4.1 総使用数と使用率

まず、中国語フィラー「那个」と「这个」の使用数と使用率、総使用数に占める比率は表3のようになる。

今回の調査では全で 60546 の音節数が得られた。その中に、「那个」と「这个」はそれぞれ 413 例と 234 例が用いられた。指示詞などの使用を除

表3

比較対象	総音節数	総使用数	フィラー使用数	使用率
那个	60546	413	157	38%
这个	60546	234	20	8.5%

くと、フィラーの定義に符合し、フィラーと認定できる「那个」の使用数は157例である。総使用数の38%にあたる。それに対して、「这个」はわずか20例であり、総使用数の中の8.5%を占めている。指示詞型フィラー「那个」「这个」の使用には非常に不均衡な現象が見られている。

今回収集したデータでは「那个」「这个」使用数の差はかなり顕著である。その理由の一つとしてはフィラーの機能を果たす「那个」は「这个」より機能が多いいため、使われた回数に影響を与えることが考えられる。

4.2 親疎関係別使用数

表4は夫婦グループと初対面グループにおけるフィラー「那个」と「这个」の使用数である。具体的なデータを見ると、夫婦グループは「那个」を94例も使用しているのに対して初対面グループは63例を使用している。

表4

夫婦グループ	「那个」	「这个」	初対面グループ	「那个」	「这个」
男A女A	18	0	男A女B	6	0
男B女B	17	4	男B女A	16	4
男C女C	9	1	男C女D	6	2
男D女D	24	0	男D女C	8	1
男E女E	13	3	男E女F	14	2
男F女F	13	3	男F女E	13	0
合計	94	11	合計	63	9

夫婦グループは「这个」11例を使用しているのに対して初対面グループは9例を用いている。全体的に見ると、夫婦グループは初対面グループよりもいざれも多めに使用することが明らかになった。データを整理する前に筆者は初対面の男女は会話を組んでいる際に緊張感と配慮の気持ちから、フィラーを多めに表出すると予測していたが、結果は予測と反していた。

その理由は夫婦グループの会話データを観察すると、口論することが初対面グループより多いため、言い争うことはほぼ早口になっている特徴があり、発話に準備する時間はそれなりに減少し、文中にしばしばフィラーが表出する現象が見られる。また、夫婦になっている男女の会話は共有記憶について話すことが多く、恋愛のエピソード、学生時代の体験など、夫婦グループの発話参加者は思い出しながら、話すことが一般的である。記憶を探している際、急に思い出せない場合、フィラーで考える時間を確保することがある。そのため、フィラーが多くて表出する。

4.3 個人別と男女別使用数

表5を見ると、今回の調査では男性の発話数は総発話数 57.0% にあたる 34523 である。それに比べて、女性は男性より発話数が少なく 42.9% にあたる 26023 である。フィラー「那个」の使用に関して、男性 91 例、57.9% を示しているに対して女性は 66 例を用い、総使用数の 42.9% を示

表5

性別	男性						女性						合計	
協力者	A男	B男	C男	D男	E男	F男	A女	B女	C女	D女	E女	F女		
発話数	4455	7467	7626	6204	4556	4215	5108	4450	4260	2702	4203	5300	60546	
総計	34523 (57.0%)						26023 (42.9%)							
フィラ ー	那个	12	18	13	25	10	13	15	9	7	5	12	18	157
	这个	0	8	3	0	3	2	0	0	1	0	1	2	20

している。「那个」の男女使用数割合は男女発話数とほぼ同様な結果が得られた。フィラー「那个」の使用には顕著な男女差が見られなかった。そして非常に均衡している分布が観察された。「这个」の使用においては、個人差も影響を与えるが、男性は女性より多めに使用することが明らかになつた。

個人差については、男性Dは「那个」を最も多く使用し25例もある。それに対して妻の女性Dはわずか5例に留る。「这个」の使用においては著しい個人差が観察された。今回「这个」の使用例全部で20例を収集した中で男性Bは8例も貢献した。それに対して、5人の調査協力者は1例も使用しなかつたことも判明した。

4.4 「那个」と「这个」の出現位置

4.4.1 発話位置の定義

本節では、発話位置に注目するため、発話文冒頭、発話文途中、発話文末尾という三つの概念を説明する。本研究の研究データは話者を交代することといわゆるターン単位にトランскriプトを作るが、フィラーの出現位置をターン単位に分析することではなく、一発話の冒頭か途中か末尾かについて調べることにする。例として次の発話文を見てみよう。

発話文例4.4.1を観察すると、一つのターンに発話文が2つ含まれている。このように、今回収集したデータの中で、一ターンでは複数の発話文を存在するため、すべての発話文を今回の調査範囲とする。

発話文例1

F男 E女	F男	発話文1：这个，就是自己锻炼身体然后呢，在那个地方摔了。発話文2：(笑) 东北话就是 ka 了。 日本語訳：这个、体を鍛えて、そしてその場所で転んだ。東北弁つて言うと、ka 了。
-------	----	--

伊藤（2018）は発話冒頭における言語要素を分析している際に、発話冒頭要素の認定基準を「発話の冒頭から伝達内容に直接かかわる部分の直前までに置かれるもの」(p.83) に定めた。本研究では、伊藤の概念に従い、発話文冒頭に出現するフィラーは発話冒頭から伝達内容に直接かかわる部分の直前までに置かれるフィラーのこととする。この認定基準で、発話文途中に出現するフィラーは伝達内容に直接かかわる部分の中に置かれるフィラーのこととする。発話文末尾に出現するフィラーについては次の発話文の冒頭要素の直前、伝達内容に直接かかわる部分の直後に置かれるフィラーと定義している。

4.4.2 フィラーと出現位置の関係

山根（2002）は日本語談話におけるフィラーの出現位置を観察した。結論として「ほとんどのフィラーは話節や単語の後ろに多く出現すると言つても、出現しやすい位置としにくい位置がある」と指摘した。フィラー「那个」と「这个」の出現しやすい位置を検証するため、日本語フィラーに関する従来の研究方法に従って調査を行う。

表6を見ると、フィラー「那个」を出現しやすい位置の上位から見ると、発話文の途中、発話文の冒頭、発話文の末尾である。

フィラー「这个」の出現しやすい位置の上位から見ると、それぞれは発話文の途中、発話文の冒頭である。発話文の末尾にはフィラー「这个」の使用例が一例も観察されなかった。

表6

フィラー	発話位置			総計
	発話文冒頭	発話文途中	発話文末尾	
那个	41 (26.1%)	108 (68.7%)	8 (5.0%)	157
这个	4 (20.0%)	16 (80.0%)	0	20

「那个」は文末に出現する発話例を主に2種類の使用法がある。一つは話し手が沈黙時間を経て、まだ発話権を譲りたくないが、話し相手が同時に発話し、ターンが奪われる場合である。すなわち、「那个」は話題継続機能として用いられるが、結果としては文末に出現することになった。もう一つの使用法としては、話し手が話題を終了しようとしている際に、「那个」あるいは「那个」と「什么」「沈黙時間」を共起して用いて、話題を提供できないことを表明し、自らが発話権を譲る場合がある。

4.5 指示詞型フィラーの機能

4.5.1 機能の定義と分類

田中（1982）は発話中に生じる有声休止を観察した結果、「その休止一般としての特性から発話の進行を時間的に遅らせ、発話における困難な情報処理に寄与するという認知的な機能をも果たす。」「すなわち、有声休止は対人的・認知的な2重機能をもつ。」と結論をつけた。（p 49）

同じ日本語フィラーの研究者山根（2000）は「フィラーには「テクスト構成に関わる機能」「対人関係に関わる機能」「話し手の情報処理を表出する機能」の三つの機能がある」と指摘した。

日中両言語の指示詞型フィラーを研究する葛・松村（2002）は「あのー」と「那个 nage」をコーディングする際に、機能を「情報処理能力表出機能」、「発話内容調整機能」、「対人関係調整機能」の三つに分類した（p 43）

劉（2009）はターンの開始部と中心部に置かれる「那个」と「这个」の機能をそれぞれ論述した。さらに、ターンの開始部に置かれる「那个」は「期待されていない」、「望ましくない」応答の前に置く傾向があり、その反面「这个」は、一般的に「期待されている」、「のぞましい」応答の前に現われると指摘し、フィラー「那个」と「这个」が指示詞の用法から転化

したと指摘している。

田窪・金水（1992）は心的領域による談話管理を論述する際に、D領域とI領域という概念を挙げられている。

D領域（長期記憶）：自分が直接経験した情報が格納されるところ。直接アクセスできる。

I領域（一時的記憶）：伝聞・推量などから間接的に得た情報が格納され

表7

フィラーの機能		定義
情報検索	①長期記憶探し	過去の出来事・直接経験を記憶の中に検索する場合、フィラーを使うこと
	②一時的情報探し	推論・伝聞・想像などで間接的に得られた情報を脳の中に検索する場合、フィラーを使うこと
話題管理	①話題転換	先行発話との主題を変えることによって、フィラーを使用すること
	②話題強調	発話文の主題を取り立て説明する際に、フィラーを使用すること。
	③話題継続	人間関係の構築または完成度の高い発話文を目的とした会話をする際に自分のターンを続かせること
	④話題終了	話し手が伝えたいことを終わらせる合図、発話権の譲渡に働きかけるフィラーを指す。
内容調整	①発話の換言・修正	発話意図に近づくように、語彙・文法・表現を言い換えるあるいは言い直すこと
	②発話の整理	発話意図に近づくように、語彙・文法・表現を整理すること
	③発話の補足	発話意図に近づくように、先行発話に対する補足すること
対人関係	①やわらげ	聞き手の気持ちを損ねないことを優先的に考え、聞き手に負担をかけないように、発話を和らげる。
	②ためらい	話し手が自分自身の気持ちを考慮し、フィラーを使用することによって、それを聞き手に知らせる。

るところ。間接的にしかアクセスできない。

多数の先行研究ではフィラーの機能について「沈黙回避」「時間稼ぎ」「場つなぎ」「つなぎ言葉」「思考過程」などの表現が使用される。いずれもフィラーの機能を表す典型的な表現だと考えられるが、互いに境界が曖昧で、「沈黙回避」という機能を果たすとともに「思考過程」という機能も果たしているフィラーの使用例が多数存在している。本研究では、先行研究を基づき、従来使用されてきた表現「沈黙回避」「時間稼ぎ」などを割愛し、実際に収集した「那个」と「这个」の発話データを分析し上で、「那个」と「这个」の機能は以下のように「情報検索」「話題管理」「内容調整」「対人関係」の4種類に分類する。さらに、それぞれの下位項目を立てる。表7のように示している。

先行研究を踏まえ、「指示詞型」フィラーの機能は表7のように分類する。情報検索を「長期記憶探し」「一時的情報探し」の2つのタイプに分け、話題管理を「話題転換」「話題強調」「話題継続」「話題終了」の4つのタイプに分ける。内容調整には「発話の換言・修正」「発話の整理」「発話の補足」のタイプがあり、対人機能は「やわらげ」「ためらい」の2つのタイプがある。

4.5.2 「那个」と「这个」の機能別使用数

中国語フィラー「那个」と「这个」の機能別使用数は表8のように示している。表9と表10は「那个」と「这个」それぞれの使用数順位となっている。

表8を見ると、「这个」は6つの機能として使われているのに対してフィラー「那个」はより豊富な機能を果たしている。機能別の上位項目を見ると、フィラー「那个」は「情報検索」という機能で最も用いられた。その次は「話題管理」「内容調整」「対人関係」である。それを比べて、フィ

表 8

フィラーの機能		那个使用数	機能別使用数	这个使用数	機能別使用数
情報検索	①長期記憶探し	59	65	0	5
	②一時的情報探し	6		5	
話題管理	①話題転換	22	61	3	10
	②話題強調	4		5	
	③話題継続	31		2	
	④話題終了	4		0	
内容調整	①発話の換言・修正	3	25	0	5
	②発話の整理	10		4	
	③発話の補足	12		1	
対人関係	①やわらげ	4	6	0	0
	②ためらい	2		0	

表 9

「那个」機能別	使用例数	使用率
1. 長期記憶探し	59	37.6%
2. 話題継続	31	19.7%
3. 話題転換	22	14.0%
4. 発話の補足	12	7.6%
5. 発話の整理	10	6.4%
6. 一時的情報探し	6	3.8%
7. 話題強調	4	2.5%
8. 話題終了	4	2.5%
9. やわらげ	4	2.5%
10. 発話の換言・修正	3	1.9%
11. ためらい	2	1.3%

表 10

合計	157	100
「这个」機能別	使用例数	使用率
1. 話題強調	5	25%
2. 一時的情報探し	5	25%
3. 発話の整理	4	20%
4. 話題転換	3	15%
5. 話題継続	2	10%
6. 発話の補足	1	5%
合計	20	100%

ラー「这个」は「話題管理」を多めに使われて、その次は「情報検索」「内容調整」である。「対人関係」機能を果たす使用例が出現しなかった。

それぞれの下位項目から見ると、使用数順位は表9と表10のよう示している。「那个」は「長期記憶」「一時的情報」を検索する機能を持つが、

「这个」は「一時的情報」という役割しか使われていない。この結果は田窪・金水（1996）の研究「ア系指示詞は、D-領域を検索範囲として、指示対象を検索せよという標識である」という理論で説明する。中国語の指示詞は日本語と相違し、三項対立ではなく、「这」と「那」という二項対立となっている。ここでは、指示詞性質が働いているフィラー「那个」は主に話し手は過去の出来事・直接経験などを記憶の中に検索する際に使われている。使用例としては旧友の名前、昔住んでいるビルの名前などのような具体的な名前探し機能と自分の身に起こった物事の順番など漠然とした内容を検索する機能がある。しかし、「一時的な情報探し」機能が6例も発見される理由はフィラーの性質によるものである。フィラーは発話文の内容から独立し、削除されても意味が成立できる。つまり個人の使用習慣によって、「那个」を「这个」に言い換えたとしても、非文にはならないである。

また、今回の調査結果では、フィラー「这个」に関しては「長期記憶探し」の機能を一例も使用されていない。話し手の推論・伝聞・想像などで間接的に得られた情報を脳の中に検索する際に「这个」はよく用いられている。

「話題管理」の下位項目機能については「那个」は主に「話題転換」「話題継続」機能を果たして、「这个」は主に「話題強調」機能を実現している。つまり、発話文の主題を強調して説明する際に、フィラー「这个」を使用する。この結果については、劉（2009）殷（2012）の研究では、いずれも目上の人は目下の人に対してあるいは友人同士でフィラー「这个」をよく用いることが指摘された。さらに、陳（2017）殷（2012）の研究では、フィラー「这个」が数多く出現すると、聞き手に発話文全体的に役人口調で喋るように感じ取ることもあると述べている。こうして中国語フィラー「这个」に対してほとんどの研究では、「这个」の過剰使用は発話文の丁寧

さが下がり、失礼になる可能性もあると指摘された。「話題強調」機能はその理由に当たると考えている。いわゆる話し手が聞き手の反応をあまり考慮せず、自分の発話文の内容を主題化し、説明することを重視する。自分の意見を聞き手に押し付けるように聞こえる。

「内容整理」に関しては、フィラー「那个」の機能順位は「発話の補足」「発話の整理」「発話の換言・修正」になっている。フィラー「这个」は「発話の整理」「発話の補足」という順位になっている。今回の調査では、「这个」が「発話の換言・修正」機能にあたる使用例は見つからなかった。

「対人関係」については、相手のことを配慮して、より柔らかい口調で質問する前に「那个」の使用する例が観察できた。「这个」についてはこのような機能は見当たらなかった。

4.6 指示詞型フィラーの使用例とその分析

4.6.1 「那个」の使用例とその機能

フィラーの使用は個人差による傾向があるため、実際のコミュニケーション場面では「那个」は如何に出現しているかについては、実際の発話例を見ながら、フィラー「那个」の機能を詳しく分析していく。

発話例1は女性Aと男性Aの夫婦間の会話データである。女性Aは二人が知り合った前の経緯を振り返っていた。発話内容は「大学時代にお父さんの頼みによって私の面倒を見ていた人がいた。一年生の冬休み、冬休みかも、冬休みの時、私たち二人は列車を乗って故郷に帰った。然后后来那个…」という女性A大学時代のことについて語った。

女性Aの記憶が途切れた場合、一連のフィラーを使い、フィラー「那个」が現れ、それは女性Aが過去のことを内心的に整理していることがわかった。過去のことを思い出し、出来事の順番をつけ、最後は記憶を言葉に言語化する一連のプロセスが見え、かなりの脳の働きが必要となる。

発話例 1（長期記憶探し）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
1:00	12	A 女	不是早就跟你说过了吗？ 就是我们那个时候不是刚上大学吗？ 然后我爹就托他照顾我。然后托他照顾我，然后我们第一年的那个寒假，是寒假吧，就大一的那个寒假，然后寒假的时候就是我们两个一起坐火车回去的，然后后来那个，然后，后来想，然后我们就约了，说，说是那个暑假都一起回去坐车嘛，相互有个照应，然后后来他就是，他跟我说他说他那个大一的暑假呢～不能跟我一起回去了，然后他要去那个凤凰写生，之前我不是看过沈从文的，沈从文的那本书叫什么来着？ 叫～ (日本語訳：とくに言つただろう？ その時、大学に進学したばかり、うちの親父は彼に頼んで私の世話を見てもらひたかった、そして、その最初の冬休み、冬休みかしら、大学一年の冬休み、その頃二人で列車を乗つて(故郷) iii) に帰つた。そしてその那个、その、その後、夏休みも一緒に帰ろうって約束をした。お互いに面倒を見る事ができる。そしてその、彼は、彼は大学一年生の夏休みは一緒に帰れなかつた。彼は那个凤凰に写生に行かなければならぬと言つた。私は以前沈从文の小説を読んだ。名前はなんでしたっけ?)
1:54	13	A 男	边城 (日本語訳：边城だ。)
1:57	14	A 女	奥，对，边城，然后就感觉那种青石板儿啊，吊脚楼啊，我就觉得就是很好嘛，然后我就说我也想去。 (日本語訳：おう、そうだ。边城だ。その(小説に描かれた)青い石畳の道と高床式の家屋にすごく興味を持って、私も行きたいと言つた。)

こうして、フィラー「那个」を使用することによって自分の長期記憶を探し、言葉化になる過程が明らかになっている。

発話例 2 は男性 B と女性 B 夫婦グループの会話データである。女性は自分の夫に「最近仕事は捲るかどうか」を聞いていた。回答として、男性 B は「順調に進んでいる。そして給料も上がったよ」と発言した。女性 B

iii) 日本語原発話文の意図を正確に翻訳するために原文にない単語を補足する場合 () で示す。

発話例 2 (話題転換)

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
1:09	04	B女	嗯, 你最近工作怎么样啊? (日本語訳: うん、最近仕事は順調ですか?)
1:12	05	B男	行啊, 挺好的. 也涨工资了. (日本語訳: まあ、いいだろう、給料も上がったし)
1:14	06	B女	噢, 挺好。那那个你们公司去那个, 哪儿来着 (日本語訳: おう、いいね、じゃ那个あなた達の会社はどこに行ったかしら)
1:20	07	B男	墨西哥 (日本語訳: メキシコ)

はそれに対して「いいね」と評価した後、フィラー「那个」が現れ、話題を変更し、「あなた達の会社は「那个」どこに行ったかしら」と男性の主張先を質問した。男性Bは「メキシコ」と回答した。

分析対象「那个」は「那」の後に現れ、「那」を用いて、話し相手の注意を喚起した後、話題は「仕事について」の内容から「主張先の場所」に転換した。このように、フィラー「那个」を使用することにより、唐突感がある話題転換を避けるとともに話し相手に心理的な準備時間を与えることもできる。

発話例3は女性Cと男性Cの夫婦間の会話データである。男性Cは自分のアドバイスを聞かない妻女性Cに対して「私の言うことを聞かないと、あなたは今まましたことはだめだよ、改善してほしい。「那个」と発言した。

怒っている妻に対して男性Cは具体的にどんな行為を改善してほしいとはっきり言えなかった。話の途中で一秒の沈黙時間を経て、フィラー「那个」が発話文の文末に現れた。ここでは、男性Cは自分の会話を続こうとする気持ちは読み取ったが、同時に女性Cはターンを取り、「あなた

発話例3（話題継続）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
14:58	92	C女	我不想接受，你不用说 (日本語訳：(あなたの意見について) 私は受け入れない、あなたに言われたくない。)
15:01	93	C男	不是，你不听我说话就 / 沉黙 2秒 / 不行，你这样的话就不对，我为什么这么说呢，我希望你有些时候改改 / 沉黙 1秒 / 那个… (日本語訳：違うよ、私の話を聞かないと、聞かないとダメだよ。なぜかと言うと、私は本当にあなたの（悪い癖）を治してほしい／沉默 1秒／那个。)
15:13	94	C女	我不用你说。(日本語訳：あなたに言われたくない。)
15:15	95	C男	为什么呀。你刚才都把我批评完了，我得… (日本語訳：どうして、ついさっき私を散々叱ったのに、私は…)

に言われたくない」と発言した。

この発話例では、確かに男性Cは自分の発話権を維持することは失敗していたが、「那个」は発話文の文末に置き、まだ自分の発話は終了していないを意味している。つまり、フィラー「那个」は発話権を維持し、話題を継続する機能を果たしていると考える。

発話例4は男性Dと女性Dの会話データである。二人は交際する前の経緯を振り返った。当時、男性Dはまだ元彼女と別れていなかった。そのことを知っている女性Dの心境は「別に大丈夫ですよ、せいぜいあなたを友達として接する」と言い出した。それを聞いて男性Dは「なるほど、あなたはそう思っていたか」とちょうど落胆した。その後、自分を慰めるように「まあ、知り合った間もなくのことだから、まだ「那个什么」「那个」（君は）深く考えてなかったよね」と発言した。

「那个」と「什么」を共起して使用し、「まだあのー、なんだろう」「あのー深く考えていなかったよね」と自問自答式になっている。フィラー

発話例4（発話の補足）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
4:16	25	D男	啊，然后后来看到了，然后呢。【人名】跟你说的我有对象。 〈笑〉那你心里怎么想的 (日本語訳：ああ、そしてその後、「人の名前」は私に彼女 ができたと言って、君はどう考えていたのか？)
4:18	26	D女	〈笑〉心里呀，没怎么想的。有一点小落寞，哎呀，这个人 有对象了。 (日本語訳：心はね、何も考えてないけど、ちょうど寂し い、あーあ、この人はもう彼女ができたか)
4:28	27	D男	真的？ (日本語訳：本当に？)
4:33	28	D女	但我不知道你跟你对象感情好不好。反正，我也，我也没什么， 有对象了大不了当朋友处呗，对不对。 (日本語訳：でも、彼女と仲がいいかどうかはわからない、 別に大丈夫ですよ、せいぜいあなたを友達として接するつ もり、いいだろう。)
4:41	29	D男	啊，但是你就这种想法，啊，对，当时是不是我们刚认识没 多久的。我们3月20多号，你才，才认识对吧。(嗯)3月 24号，好像是(嗯)在食堂，然后清明是4月3号，那会儿是刚认识， 还没那个什么，那个进一步想法呢吧。 (日本語訳：ああ、そういうふうに考えていたか、ああ、 そうだ、当時はまだ知り合ったばかりなのに、3月20何 日、知り合ったばかりだろう。3月24日、食堂で(出会 った)その後は4月3日の清明節だ。その頃は知り合った ばかりで、まだ那个什么，那个(君は私たちのことを)深 く考えてなかったよね)

「那个」を置き、後続発話は先行発話の説明と補足になっている。このように、仮に思考が途切れても、フィラー「那个」を用いて先行発話を補足し、伝達内容をより発話意図に近づくことができる。

発話例5は男性Fと女性Fにおける夫婦の会話データである。二人は人気ゲームについて話し合っている。男性Fは女性Fに「日本や韓国など、競争ゲームの選手がもらった賞金額が高いよ」と説明した。女性F

発話例5（発話の整理）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
10:36	140	F 女	现在王者荣耀打的真火。 (日本語訳：いま王者荣耀（というゲーム）はすごく流行っているね)
10:44	141	F 男	因为像这种竞技比赛吧，特别韩国日本，这种选手，这种这种竞技比赛奖金额特别高。 (日本語訳：なぜならこういう競争ゲーム、特に韓国日本での選手は（試合で勝ったら）賞金がすごく高いよ。)
10:56	142	F 女	而且我看这种比赛，特别是偏90后的00后的。 (日本語訳：そしてこの種類のゲーム試合の（選手）は1990年以後あるいは2000年以後生まれたばかりね。)
11:03	143	F 男	对呀，因为他们可以在，他们不用…他们可以不属于职业玩家。就，那个，专门打游戏的那种，他们可以前半年上学，然后呢等着那个哦休息的时候，有联赛的时候他们再出来打比赛。 (日本語訳：そうよ、彼らは…（意味理解不能）彼らはプロ選手ではない、つまり、「那个」、プロの選手のように、半年学校を通って休みの時期になったら、あるいはリーグが始まったら、ゲームをする)
11:31	144	F 女	哎，他们就是奖金也挺高的是不。 (日本語訳：ええ、賞金額もとても高いじゃないか)

は「それに、1990年代、2000年代生まれの若手選手が多い」と補足した。男性Fは「そうよ、彼らは…（意味理解不能）彼らはプロ選手ではない、つまり、「那个」、プロの選手のように、半年学校を通って休みの時期になったら、あるいはリーグが始まったら、ゲームをする」と更なる説明した。

「就」「那个」が出現する先行発話については、意味理解不能の部分が存在する。「若手プロ選手」の生活スタイルの説明について、男性Fは自分の発話語順と表現を調整していることが観察できた。フィラー「那个」を使用し、時間をかけて内心的情報を処理し、言葉を再編するプロセスが見られる。

4.6.2 「这个」の使用例とその機能

発話例6は女性Eが「お金を稼ぐことの意味」に関して自分の観点を述べた断片である。女性Eは「もう一つ考えたのは、这个、お金を稼ぐことは人間としての価値を表わせる。」という自分の意見を提供した。

発話例6 フィラー「这个」は話題強調機能として用いられた使用例である。話し手女性Eは「お金を稼ぐ」ことを話題にし、男性Eとその話題について議論しようとする姿が見える。「お金を稼ぐ」という話題の前に、

発話例6（話題強調）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
10:10	98	E 女	<p>再一个我觉得这个，挣钱这个事儿吧，是一个人价值的体现，嗯，就不单纯说孩子，就是你作为一个个体的人来讲，每天上班下班，上班下班，一个月开点钱，够温饱，就跟那个似的嘛，不就一样了嘛。对不，就是做点不一样的事儿嘛。嗯，成不成这个事不重要，过程嘛。</p> <p>(日本語訳：もう一つ思ったのは、这个、金を稼ぐことは人間としての価値を表わせる。子供だけではなく、人として毎日、出勤退勤の繰り返し、一ヶ月の給料はまづまづで、まるであれのように、そうだろう、違うことをやるべきではないか。うん、成功するかどうかはとにかく、そのプロセスは(重要だ。))</p>
10:18	99	E 男	<p>对。</p> <p>(日本語訳：そうだよ)</p>
10:22	100	E 女	<p>什么事儿都是个过程嘛，活这一辈子不都是个过程嘛，没有结果，就是你有钱了，兴许最后也没有钱了。对不，不是说绝对的事儿。</p> <p>(日本語訳：すべてのことはプロセスそのもの、生きていることもプロセスそのもの、結果なんかない、お金がたくさん持っても最後持つてなくなる可能性もある。絶対ではない)</p>
10:28	101	E 男	<p>对。就是说我不是很喜欢钱，但是我觉得这个东西很重要。</p> <p>(日本語訳：そうだ、つまりお金を好きではなく、重要だと思っている)</p>

フィラー「这个」が出現し、後続発話文では妻Eは自分の意見を述べていた。「这个」が用いられたことによって、女性Eがこの話題を中心に議論したいと強く相手に伝えたい気持ちを感じ取ることができる。

発話例7は初対面異性男性Fと女性Eの会話データである。二人は「子供の100日の記念写真」について話している。まず、女性Eは「子供の記念写真は自分の主人が撮影した」「ほかの子供の洋服を借りて全部主

発話例7（一時的に情報探し）

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
8:56	156	E女	然后小孩儿照片他给照的。 (日本語訳: 子供の(記念)写真は(主人)が撮ってくれた。)
9:04	157	F男	啊, 现在就是从… (日本語訳: ああ、今から…)
9:10	158	E女	就是100天一照。100天就是跟别人借的小孩儿衣服。(啊) 然后都是他照的。 (日本語訳: (生後)100日ごとに一回撮る。知人のところに子供の服を借りて、主人が撮ってくれた。)
9:20	159	F男	我们俩还说呢, 再也不照了, 太累了。 (日本語訳: 私たちは決めました。もう撮りたくない、本当に疲れる。)
9:28	160	E女	你就那么想的, 等孩子大一大你就想给孩子照了。 (日本語訳: 今はそう思っているけど、子供が大きくなったら撮ってあげたくなる。)
9:34	161	F男	孩子照吧, 倒是还行。主要你在边上看着还能帮着忙活忙活。 这个还行, 你说俩人再换衣服再这个、这个什么, 吱呀我去, 可费劲了。 (日本語訳: (子供に撮ってあげる)のはまだまだいいけど、自分は傍で手伝うこともできる。二人まで着替えさせ、それに这个、这个什么、あーあ、本当に大変だよ)
9:38	162	E女	吱呀, 那个那个累了, 真太累人了。 (日本語訳: あっ、那个那个それは疲れるよ、本当に疲れる。)

人が撮ってあげた」と話題を提供し、男性Fは「疲れるから、もう二度と記念写真を撮らないことを妻と話した」。そして女性Eは「そう思っても、子供が大きくなったら、きっと撮ってあげるよ」。男性Fは「子供に記念写真を撮ってあげるのはまだいいけど自分は傍で手伝うこともできる」「二人まで着替えさせそれに」ここでは、フィラー「这个、这个什么」が現れ、さらに、感嘆詞「哎呀我去」（すごいショック）を用いて、「とても大変よ」と述べていた。それに対して、女性Eは「ああ、フィラー「那个」を置き、本当に疲れる」という会話の流れである。

男性Fは「二人まで着替えさせそれに」の直後にフィラー「这个、这个什么」が現れ、男性Fが記念写真を撮る苦労を想像している姿が見える。想像した情報を脳の中に検索する際に、記念写真を撮ることの面倒さをますます感じて感嘆詞を置いた。ここでは、フィラー「这个」は「一時的情報探し」という機能を果たしている。

それに対して、発話番号162を見ると、同じことについて述べるにもかかわらず、女性Eはフィラー「那个」を用いた。その理由は女性Eがすでに子供に記念写真を撮った経験があり、その直接経験を自分の記憶に検索する際に、「長期記憶探し」としてフィラー「那个」を使用していると考えられる。

発話例8はB男性が妻に「どうして病院に対する不満な態度を取るか」に対する回答である。「精神的な面这个～、仏教も営利を目的にする集団、私はそういうことを言いたい。」とB男性は説明した。「(仏教)は精神的な面」の後にフィラー「这个」を使用し、文の続きを省略した。ここでは、「仏教」は何故「病院」より「手段が優れている」か、どのように精神的な面で人をコントロールしているのかを説明する際に、話題の量はそのまま増やす可能性があるとB男性に感知されているため、フィラー「这个」を利用して説明から逃がれ、話題をスムーズに転換しようとしている。

発話例 8 (話題転換)

発話時間	発話番号	発話者	発話内容
11: 12	274	B 女	那你怎么反对医院呢? (日本語訳: どうして病院に不満を感じるか?)
11: 15	275	B 男	我说的医院是跟比, 打个比喻, 比较那方面嘛? 〈笑〉打比方说佛教方面嘛, 医院救死扶伤, 它是盈利机构, 医院更高级的, 精神方面的这个~佛教宗教他也是一个盈利机构, 我就这个意思 (日本語訳: 例を挙げると、病院は比較的にちょうどあれ、例えば仏教について、病院は確かに命を救う場所だが、営利機関もある。病院よりさらに手段が優れている。精神面、这个~、仏教も宗教も営利目的の機関だ。私はそういう意味だ。)
11: 32	276	B 女	啊! 行, 行, 你, 你伟大你厉害、你不需要医院那你为什么感冒你还吃药呢? (日本語訳: いいね! まあ、まあ、あなたは偉大だしすごい! 病院はいらないだったらどうして風邪をひくと薬を飲むか?)
11: 36	277	B 男	我又没说不需要医院啊, 我说它是盈利机构啊。 (日本語訳: 私は病院が存在する必要がないことを言っていない、営利目的のため、存在することを言っている。)

5.まとめ

本研究は、コミュニケーション場面における中国人母語話者が用いたフィラー「那个」と「这个」の使用実態と使用特徴を明らかにすることを目的として行った。さらに、フィラー「那个」と「这个」の使用法と機能を比較し、その相違点を生成する理由を考察した。

フィラー「那个」「这个」が用いられた会話データを個々に分析した結果、「那个」は「这个」より数多く使用されることが分かった。その原因としては、「那个」を持つ機能が「这个」より豊かであるということが挙

げられる。

親疎関係については、全体的に見ると、夫婦グループは初対面グループよりフィラー「那个」と「这个」いずれも多めに使用することが明らかになった。その理由は、夫婦になっている男女の会話は共有記憶について話すことが多く、記憶を探している際、急に思い出せない場合に、フィラーで記憶探しの時間を確保すると考えられる。

出現位置については、「那个」と「这个」は「話題管理」「記憶探し」の機能を果たして文の途中に現れる使用例が最も多く、いずれも使用例の半数以上を示している。

機能面については、フィラー「那个」は「情報検索」という機能が最も多く用いられた。それを比べて、フィラー「这个」は「話題管理」が多めに使われる。

「情報検索」という機能については「那个」は主に「長期記憶」を検索する機能を持つが、「这个」は「一時的情報」という役割にしか用いられない。

「話題管理」の下位項目機能については「那个」は主に「話題転換」「話題継続」機能を果たしている。「这个」が主に「話題強調」機能を実現している。中国語フィラー「这个」に対してほとんどの研究では、「这个」の過剰使用は発話文の丁寧さが下がり、失礼になる可能性もあると指摘された。「話題強調」機能はその理由になると考えている。

「那个」は「やわらげ」「ためらい」の「対人関係」機能を果たしているのに対して「这个」については「対人関係」を果たす使用例が発現されなかった。

以上の分析と考察から、中国語フィラー「那个」と「这个」の特徴、使用実態と果たす機能の結果が、中国語教育現場におけるフィラー指導への示唆になれば幸いである。

参考文献

- 1) 伊藤翼斗 (2018)『発話冒頭における言語要素の語順と相互行為』大阪大学出版社
- 2) 大工原 勇人 (2010)「日本語教育におけるフィラーの指導のための基礎的研究：フィラーの定義と個々の形式の使い分けについて」神戸大学博士学位論文
- 3) 田中敏 (1981)「日本語発話における言い淀み現象の分類と特徴づけ」『心理学研究』52 (4). pp. 231~218
- 4) 田窪行則・金水敏 (1996)「複数の心的領域に おける談話管理」『認知科学』 Vol. 3, No. 3, 59~74, 日本認知科学会
- 5) 定延 利之・田窪 行則 (1995)「談話における心的操作モニター機構一心的操作標識「ええと」「あのーーー」』『言語研究』 pp. 74~93 日本言語学会
- 6) 山根 智恵 (2002)『日本語の談話における「フィラー」』くろしお出版社
- 7) 蔡 嘉綾 (2009)「日中両言語の自然談話データを用いた会話の対照分析—フィラーの使用を中心にして」東北大学論文集
- 8) 楊 洲 (2017)「コミュニケーションにおける人間関係の親密度による中国語フィラーの表出」日本中国語第 67 回全国大会予稿集
- 9) 葛 欣燕・松村 瑞子 (2017)「指示詞型フィラーの用法についての日中対照分析—日本語「あのー」と中国語「那个 nage」の機能を中心にー」九州大学学術情報リポジトリ 38 号 pp. 41~58
- 10) 陳 海濤 (2017)「中国語フィラー这个の使用法の分類に関する考察」『人間生活文化研究』第 27 号 pp. 629~637
- 11) 刘 丽艳 (2005)《汉语口语中的话语标记研究》浙江大学, 博士学位论文
- 12) 殷 树林 (2012)《现代汉语话语标记研究》中国社会科学出版社 pp. 101~128